

2020年12月31日 期末暫定決算報告書

本リリースは、2021年2月17日に発表されたものの日本語抄訳版です。

‘変革を加速’

COVID-19 にもかかわらず新カテゴリー製品とグループ利益の成長を達成

決算のハイライト	公表値		調整後	
	実勢 為替レート	前年比	実勢 為替レート	前年比 (同一為替レート)
紙巻たばこおよび加熱式たばこの数量ベースのシェア		+0.3 ポイント		
紙巻たばこおよび加熱式たばこの金額ベースのシェア		+0.2 ポイント		
非燃焼たばこ利用者 ¹	1,350 万人	+300 万人		
売上	257.76 億ポンド	-0.4%	257.76 億ポンド	+3.3%
営業利益	99.62 億ポンド	+10.5%	113.65 億ポンド	+4.8%
オペレーティングマージン	+38.6%	+3.8 ポイント	+44.1%	+1 ポイント ²
希薄化 EPS	278.9 ペンス	+12.0%	331.7 ペンス	+5.5%
営業活動による正味キャッシュフロー	97.86 億ポンド	+8.8%		
配当支払い後フリー・キャッシュフロー			25.5 億ポンド	+32.7%
キャッシュ・コンバージョン ²	98.2%	-1.6 ポイント	103.0%	+6.5 ポイント
借入金 ³	43,968 億ポンド	-3.1%		
調整後純負債			394.51 億ポンド	-5.3%
一株当たり配当金	215.6 ペンス	+2.5%		

注-1. 社内推定値 2. 調整後オペレーティングマージンおよびオペレーティング・キャッシュ・コンバージョンは実勢為替レート・ベース 3. 借入金はリース債務を含む

現時点の成果	より良い明日を築く
<ul style="list-style-type: none"> COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) による売上に対する推定 2.5%のマイナス影響を吸収して売上、営業利益、EPS が拡大* 燃焼たばこは数量ベースの 4.5%の減少をプライスマイクスの 7.3%の改善によりプラスの量と相殺して売上は 2.8%増* 紙巻たばこの金額ベースのシェアは戦略的製品のシェアの 0.4 ポイントの拡大をけん引役に 0.2 ポイント上昇 「プロジェクト・クオンタム」を中心に年間 6 億 6,000 万ポンドのコスト削減を達成 調整後営業利益は 4.8%増 調整後オペレーティングマージンは 1 ポイント改善 調整後希薄化後 EPS は 5.5%*拡大 オペレーティング・キャッシュフロー・コンバージョンは 103% 26 億ポンドのフリー・キャッシュフロー・ジェネレーションにより調整後純負債/調整後 EBITDA 比率は 3.3 倍に低下 通期の配当 2.5%増の 215.6 ペンス 配当性向は 65% 	<ul style="list-style-type: none"> 非燃焼たばこ利用者は 300 万人増の 1,350 万人。2030 年までに 5,000 万人に達する見込み 新カテゴリー製品の売上は 15%増*と、下半期に加速 2020 年には新カテゴリー製品に 4 億 2,600 万ポンドを投資 ペーパー製品の販売数量は 52%増 加熱式たばこ (THP) の販売数量は 19%増 (glo Sens の販売終了による影響を除くと 29%増) 現代的なオーラル製品の販売数量は 62%増 米国では Dryft 買収により製品レンジが 4 製品から 28 製品に拡大 新カテゴリー製品や新たな業務分野開拓のための投資資金の確保を目的とした 2022 年を目途とする年間 10 億ポンドのコスト削減を計画より早く達成へ

*同一為替レート

ジャック・ボールド最高経営責任者: 「たばこ業界最大規模を誇る唯一の真のグローバル企業として、BAT は自らの変革を進め、ソート (新時代を築いていく) リーダーシップを示すという役割を担っていることを真摯に受け止めています。当社は、自社の事業が及ぼす環境への負荷を軽減するという明確な目標を定めています。また、当社は、リスクの低い製品への移行を促すことのできる特別な立場にあります**。

BAT は、金額ベースで世界のたばこ業界全体の 40%を占める米国を含め、世界中で事業を展開しており、顧客満足度、イノベーションに対するニーズ、嗜好に関する当社の洞察を生かすことにより、入念に考案された消費者重視のマルチカテゴリー戦略を世界中で実践しています。BAT は、ターゲットとする個々の消費者セグメント別に未来のブランドとなる、強力でグローバルなブランドを確立しています。

昨年、当社の非燃焼たばこ利用者は300万人増加して1,350万人に達し、2020年下半期には普及率が2倍に拡大しました。新カテゴリー製品ではモメンタムが高まっており、数量ベース、金額ベース共にシェアの拡大が加速しています。

新カテゴリー製品に対する投資額は2019年に比べてさらに4億2,600万ポンド増加し、これには燃焼たばこ製品で5年連続して金額ベースのシェアが拡大したことが貢献しました。「プロジェクト・クオンタム」が奏功して2020年も簡素化と効率化を継続した結果、6億6,000万ポンドのコスト削減を達成し（2022年までに10億ポンドという大胆な削減目標を達成できる見込み）、新たな能力獲得への投資が可能となっています。

BATのESG目標は革新的なもので、「より良い明日を築く」という当社の目標の支えとなっています。目標達成に向けた過程を追跡し、その進展を共有します。私たちは、多様なステークホルダーに長期に亘って価値をもたらす持続可能な成果を実現しつつ、我々の事業による健康への影響を減らすことに真剣に取り組んでおります。」

2021年の見通し:

- 世界のたばこ業界は数量ベースで3%前後縮小する見通し。米国市場は、新型コロナウイルスの影響で不透明
- 同一為替レート・ベースの売上成長率は3~5%と予想され、新カテゴリー製品は2025年度を目途とした50億ポンドの売上目標の達成に向けて着実に拡大
- 同一為替レート調整後のEPS成長率は、新型コロナウイルスの影響が続いていることを反映して1桁台半ばとなる見通し。通期の調整後EPS成長率に対する為替差損によるマイナス影響は7%前後と予想
- オペレーティング・キャッシュ・コンバージョン比率は90%を超えており、調整後純負債/調整後EBITDA倍率は3.0倍前後と予想

コロナ禍収束後には、同一為替レート・ベースで3~5%の売上成長と1桁台後半の調整後希薄化EPS成長率を見込む当社の業績予想を達成できると確信しています。

**根拠の重要性に基づいており、紙巻たばこからの完全な移行を想定。これらの製品にリスクがないわけではなく、依存性がある。

最高経営責任者のコメント

「より良い明日を築く」-BATの変革の道程

BATは、当社の株主およびその他のステークホルダーの皆様にとっての「より良い明日を築く」ために、事業の変革を進めています。私たちが社会に対してできる最大の貢献は、当社のグローバルな事業が健康へ及ぼす悪影響の低減です。何よりもまず、これは当社の新カテゴリー事業の成長を可能な限り加速させることを意味します。

引き続き次の3つの戦略的な優先事項が当社の変革への道程の柱となります：

- 以下を背景とした新カテゴリー製品の成長加速
- 燃焼たばこ製品の金額ベースの成長
- より迅速でシンプル化された機敏な企業となることによる恩恵

新型コロナのパンデミックにより前例のない困難に直面したにもかかわらず、当社は2020年にこれらの3つの優先事項をすべて達成しました。持続的な成長の実現に向けて強固な基盤を維持することに貢献してくれた社員の決意と不屈の精神に深く感謝します。

昨年、BATはいくつかの野心的な目標を掲げ、それに向かって着実に進んできました。私たちは新カテゴリー製品の売上成長率をさらに加速させ、2025年までに50億ポンドの売上を達成することを目指しています。現在、非燃焼たばこ製品の利用者が前年に比べて300万人増加して1,350万人に達しており、2020年下半期には消費者への普及率が2倍に上昇したことを誇りに思います。2030年までに世界の非燃焼たばこ利用者5,000万人を目指す野心的な目標の達成に向けて着実に前進しています。

BAT の事業のサステナビリティは、業績のみにとどまりません。その中核をなすのは、当社のグローバル事業が健康へ及ぼす悪影響の低減を通じて「より良い明日を築く」という目標への継続的な取り組みです。

具体的にこれは以下を含みます：

- 成人消費者を対象とした低リスクで愉しめるさまざまな製品の提供への取り組み**
- 燃焼たばこは深刻な健康リスクをもたらすこと、そしてこのリスクを回避する唯一の手段はそれらのたばこを吸い始めないようにするか、あるいは吸うのをやめることであると明確に示すこと
- それでもたばこを吸い続ける人々に対して、リスクの低さが科学的に実証されている代替商品に完全に移行するよう推奨**
- 変革の進展状況を追跡し、共有すること

「より良い明日を築く」という目標は、環境、社会、当社の従業員にポジティブなインパクトをもたらすための明確な取り組みを定めた ESG 戦略により支えられています。なかでもとりわけ、当社の事業のハーム・インパクトの削減に加えて、直接的な排出（スコープ 1 とスコープ 2）について 2030 年までにカーボン・ニュートラルの達成を目指すことが挙げられます。BAT はこうした目標に向けて着実に進んでおり、外部により高く評価されていることを誇りに思います。2020 年に BAT は：

- 19 年連続でダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) に選定
- Sustainalytics、Vigeo Eiris などの著名な ESG 格付け機関によるスコアが上昇
- カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト (CDP) より気候変動に関する最高評価の「A スコア」を獲得
- MCSI による BBB の格付けを維持
- トップ・エンプロイヤー・インスティテュートにより 4 年連続で「グローバル・トップ・エンプロイヤー」に選定

最高経営責任者として、私は当社の事業変革と新カテゴリ製品の成長加速を通じて、社会に積極的に貢献していく所存です。これまでの当社の実績に誇りを持っておりますが、まだなすべきことはたくさんあります。BAT の将来に対して、私は大きな期待を寄せています。優れた業績を達成してきた当社の歴史、消費者に対する深い洞察、さらにイノベーション主導で顧客重視のマルチカテゴリーのアプローチを礎に、この素晴らしい企業のさらなる繁栄を実現し、すべてのステークホルダーにとって「より良い明日を築く」ための基盤は整っています。

財務および変革責任者のコメント

高水準のキャッシュ・ジェネレーションと流動性の強化

BAT のキャッシュ・ジェネレーションは極めて高い水準に達しており、2020 年にはオペレーティング・キャッシュ・コンバージョンは 4 年連続して 95% を超えました。営業活動によるネット・キャッシュは 98 億ポンドとなり、世界的なパンデミックの影響で運転資本に 1 億 3,100 万ポンドの影響が生じたにもかかわらず、配当支払い後のフリー・キャッシュフローは 26 億ポンドとなりました。

2020 年には当グループは流動性状況を一段と強化し、資本市場からの 89 億ポンド（ドル、ユーロおよびポンド建て）の新たな資金調達、2021 年および 2022 年に償還期限を迎えることになっていた債務の買戻しと償還による負債管理取引の完了、二者間の短期貸出ファシリティ（借入枠は 34 億ポンド）の契約、60 億ポンドのリボルビング・クレジット・ファシリティ (RCF) の借り換えによる満期の延長と財務制限条項の削除などを実施しました。この結果、債務の平均年限は 9.9 年となり、1 年間に返済期限を迎える債務は最大で約 40 億ポンドとなりました。当社は引き続き配当性向を 65% で維持し、債務返済を進める考えであり、2021 年末までに調整後純負債/調整後 EBITDA 倍率は 3 倍前後となる見通しです。当社は引き続き中期的に信用格付けが現在の BBB+/Baa2 **** から BBB+/Baa1 に格上げされることを目指しています。

** 根拠の重要性に基づいており、紙巻たばこからの完全な移行を想定。これらの製品にリスクがないわけではなく、依存性がある。

***信用格付けは、証券の購入、売却あるいは継続保有を推奨するものではない。信用格付けは随時取り下げまたは見直される可能性がある。個々の格付けは、他の格付けと切り離して評価されるべきである。